

平成29年度 奈良県立教育研究所 “教育セミナー2017” について(報告)

県立教育研究所

平成29年5月29日(月)、県立教育研究所において、「教育セミナー2017」を開催しました。「学びをつなぐ～深い学びの実現を目指して～」をテーマに、全体会では「学びをつなぐ『アクティブ・ラーニング』」と題する京都大学高等教育研究開発推進センター教授の溝上慎一氏による基調講演を通して、参加者と共に子どもの深い学びを実現する授業づくりについて考えました。また、研究発表では、教育研究所が昨年度取り組んだ研究を中心に19の研究発表を公表し、アクティブ・ラーニングについて学ぶ体験型の研修も行いました。

本年度のセミナーは、各校種の教職員を中心に、約600名の参加を得て、本県の教育について共に考え、課題の共有を図ることができました。



開会式



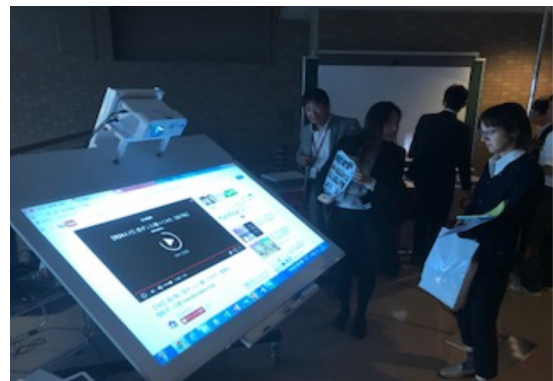
全体会（基調講演）



プロジェクトⅢ 研究発表



アクティブ・ラーニングを学ぶ体験型研修



教材・教具、パネルの展示

参加者のアンケートには、全体会について、「アクティブ・ラーニングの視点からの授業づくりなど、具体的な内容を教えていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。」「教職員自身がさらに意欲的に授業に取り組む必要があると感じました。」という感想が多く寄せられました。

また、研究発表については、「教える場面と学び合える場面について考えることができた。」という感想が多く寄せられ、明日からの実践につながる学びの場を参加者に提供し、本県の教育課題解決に向けて共に考える機会とする本セミナーの目的が果たせたのではないかと考えています。